

走行チェックシート

日付	2012年10月7日 (日)		時間	~		イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L2		ライダー	今野由寛		
コース	名称	岡山国際サーキット			気温	23	°C		
	コンディション	DRY			気圧	990	hpa		
	路面温度	34	(計測時間)		湿度	40	%		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ 10W-40				
	ファイナルレシオ	16 x 44 (2.75)							
トランスミッション	1st	A(36/17)	2.12	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	A(37/20)	1.85	5th	C(30/22)	1.36			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA (760mm)		TEN	-8				
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	195	mm			
	イニシャル	16	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで7mm突き出し				
リア	パーツ名	SHOWA (340mm)		TEN	-15				
	スプリング	105.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	-	mm	リンク	SPL				
	イニシャル	13	mm	リンクロッド	mm				
	COMP(HI)	+3回転		車高	STD+23mm ピボット-2mm スイング長591mm				
	COMP(LO)	-8							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.3				
チェック	順位	5位		ベストラップ	1' 30" 804				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>
 皆様ご機嫌いかがですか？
 10月に入り秋の気配が濃くなってきました。朝晩は一枚羽織らないと寒いです。
 岡山は事前にテストがあり、タイムは31秒台で周回できます。
 しかし今野選手の自己ベストは1' 30" 7くらいですのでまだまだ足りません。
 オートポリス(AP)のセッティング方向とは違うアプローチで進めていくことにしました。
 APはタイヤのグリップが良くバネ荷重を上げていけるのでリアのレートを高めていきました。
 この方向だと路面温度などコンディション変化によっての影響が大きくなってしまいます。(ドライはいいが雨は走りにくい等)
 ある程度車体のセットアップがまとまっているとドライセットのまま、減衰を少し抜くだけで雨も走れます。
 そういう意味ではちょっとピンポイント過ぎたかなと思ったので、もう少し車体で自由度のあるセッティングを狙って行きました。
 岡山国際サーキットはバックストレートエンドのヘアピンから最終コーナーまで細かいコーナーの連続です。
 車体セットをその区間に合わせて、コース前半は多少のアジャストをする感じです。
 APからリアバネレートを下げただけの仕様で持ち込み、途中チェーンを1コマ詰めて車体自体を小さくしました。これはいい方向でした。
 レースウィークにはもう少しコンパクトで前後の荷重配分を後ろよりの車体で持ち込みました。
 これもいい方向でしたが、事前テストのタイムまでしか出ません。
 予選でQ3でようやく自己ベスト付近の1' 30" 8をマーク。目標はもう少し先においていたのですが達成できず、5番グリッドを獲得。
 決勝レースのシミュレーションでは、前半は30秒台で走行。後半31秒台を想定していました。
 しかし、決勝では後方からいいスタートを決めた選手がいて6番手を走行。
 うまくかわせずに数周走行。かわしました時には先行するマシンとは離れてしまいました。
 結果5位入賞しましたが、内容は課題の残るレースでした。
 次回鈴鹿はその課題が非常に大きな差になってくるので、少しでも差を縮められるように対策していきます。
 いよいよ最終戦鈴鹿です。しかも2レース。
 最後の正念場です。応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ
 畑中健太郎